

# 万之瀬川の豊かな自然を次世代に残す取り組み

## 万之瀬川の自然を守る会

代表 中島 耕作

鹿児島県

### 1. はじめに

万之瀬川は鹿児島県の薩摩半島に位置し(図1)、川辺、金峰、加世田を経て東シナ海に注ぐ雄大な川であり、そこには多くの動植物が生息している。その万之瀬川をフィールドとして万之瀬川の自然を守る会は、自然観察会の実施や自然保護の普及啓発活動を行っている。当地では主なものとしてハクセンシオマネキ、ハマボウ、冬に越冬のために訪れるクロツラヘラサギなどが生息しており興味対象となっていた。しかしながら、当該地は人家の裏や路地を抜けてたどり着くような観察ポイントが多く、ハクセンシオマネキなどについては生息しているのは聞いたことがあるが、見たことはないなどの話も寄せられていた。また、たくさん生息しているのではと言われていたハクセンシオマネキなどがいったいどのくらい生息しているのかを正確に調べたデータは乏しい状況にあった。

そこで万之瀬川の自然を守る会では万之瀬川の自然を次世代に残す取り組みとして普及啓発活動に力を入れるとともに、当該地に生息するハクセンシオマネキやクロツラヘラサギなどの調査活動を行いデータをとりまとめた。

図1 参照

### 2. 活動概要

#### ①自然観察会の実施

万之瀬川の状況を広く知ってもらうために自然観察会を実施。特に次世代に残していく取り組み

の観点から子供たちを対象に行う観察会を企画実施した。

#### ②普及啓発活動の実施

①の自然観察会の実施に併せ、普及啓発活動として万之瀬川の自然環境を紹介した下敷きやパンフレットを作成し、自然観察会の参加者などに配布し理解を深める材料とした。なお、配布に際しては TaKaRa ハーモニストファンด์の助成金を活用している旨をPRした。

#### ③ハクセンシオマネキ調査活動

万之瀬川に実際にどの位のハクセンシオマネキが生息しているのか、またどの付近に多く生息しているのか調査を行った。年に数回の調査活動を行いデータを収集。

#### ④クロツラヘラサギ調査活動

万之瀬川に冬の越冬としてどの位のクロツラヘラサギが渡来しているのか調査活動を行った。年に数回の調査活動を行いデータを収集。

#### ⑤ハマボウ調査活動

万之瀬川にどのくらいのハマボウが生育しているのか、またどの付近に多く生育しているのか調査活動を行った。年に数回の調査活動を行いデータを収集。

### 3. 活動方法

#### ①自然観察会の実施

新聞等を活用し広報の実施に努めた。参加者を募り保険をかけ観察会を実施。当日は集合場所として鹿児島県吹上浜海浜公園管理事務所前を提供していただいた。

#### ②普及啓発活動の実施

普及啓発活動用の下敷きやパンフレットを作成するにあたり、今までの活動資料等も活用しながら作成を行った。レイアウトや内容など何度も検討を行った。

#### ③ハクセンシオマネキ調査活動

万之瀬川の生息箇所に実際に足を運び、50cm四方の方形枠(写真1)を使用し、生息している箇所にてハクセンシオマネキの穴をカウント。また、巻き尺などを使用し当該地の面積を計算しカウントした数値と併せ算出した。満潮時では生息する穴が海面下になるため干潮時を選び活動を実施。写真1(調査用方形枠)参照

#### ④クロツラヘラサギ調査活動

冬の期間、クロツラヘラサギ渡来状況を双眼鏡等を使用し確認した。また、クロツラヘラサギは干潮時に行動することが多いため特に潮見表を活用した。

#### ⑤ハマボウ調査活動

現地での活動と航空写真での判別を実施。

### 4. 活動(調査)結果

#### ①自然観察会の実施

実施の状況を以下のとおり写真で紹介する。  
写真2(観察前に事前の説明を行っているところ)参照  
写真3(カニに触れてみる)参照  
写真4(野鳥の観察を行っているところ)参照

#### ②普及啓発活動の実施

下敷き(資料1)とパンフレット(資料2)を作成。

また、写真で普及啓発活動の状況を紹介する。

資料1(下敷き)参照

資料2(パンフレット)参照

写真5(下敷きを配布：順番を待つ子供たち)参照

写真6(下敷きを配布)参照

写真7(普及啓発の話を聞く子供たち)参照

#### ③ハクセンシオマネキ調査活動

万之瀬川においては生息しているハクセンシオマネキは約120万個体を確認した。また、その生息箇所を図2に示す。その活動等については写真で紹介する。

図2参照

写真8(活動地全景)参照

写真9(活動地近景)参照

写真10(ハクセンシオマネキの状況：白い点々がハクセンシオマネキ)参照

写真11(ハクセンシオマネキ：雄・片方のハサミが大きい)参照

写真12(ハクセンシオマネキ：雌・ハサミが両方とも大きくない)参照

写真13(活動の状況)参照

写真14(活動の状況)参照

#### ④クロツラヘラサギ調査活動

冬の期間、クロツラヘラサギの渡来状況は15羽程度でありその羽数は過去の調査からもほぼ横ばい状態である。その調査等については写真で紹介する。

写真15(活動地全景)参照

写真16(飛翔するクロツラヘラサギ)参照

写真17(羽を休めるクロツラヘラサギ)参照

#### ⑤ハマボウ調査活動

ハマボウの生育面積は約2.5haであった。また、その生息箇所を図3に示す。その活動等については写真で紹介する。

図3 参照

写真18(活動地全景)参照

写真19(活動地近景)参照

写真20(ハマボウの花)参照

## 5. 考察

自然観察会や普及啓発に関しては今までよりも内容の濃い活動ができたと考えている。調査活動についてはハクセンシオマネキやクロツラヘラサギなどの個体数等の把握ができたことが成果である。また、ハクセンシオマネキの調査を行う中で上図のとおりハマボウの生育箇所の近くに多くが生息している状況が見受けられた。付近では砂地の状況等はさほど変わらないことから落葉広葉樹であるハマボウ生育付近では養分などの供給が多いことが考えられ、そのことからハクセンシオマネキなどの生息が多くなっていることが考えられた。なお、当該地には古くから残る歴史的石積(写真21)や天然のハマグリなどを求めてくる地域住民のいこいの場(写真22)ともなっており、地域の重要な自然環境となっている。

写真21(歴史的石積：手前はハマボウ)参照

写真22(万之瀬川の風景)参照

## 6. 今後の課題

今後も引き続き当該地での自然観察会実施やモニタリング的活動、普及啓発活動などに力を入れて行き、万之瀬川の貴重な自然が次世代に残されるように努めていきたいと考えている。

## 7. おわりに

平成16年4月に設立した当団体も2年が過ぎ、その間に様々な活動(写真23・24)や本成果を収めるにあたってはTaKaRaハーモニストファンドの助成を受けることができたことによるものでお礼を申し上げる次第である。

写真23(活動の様子がテレビ局にて放映される)

写真24(テレビで放映される観察会の募集)



図1 万之瀬川河口の位置図



図2 万之瀬川河口におけるハクセンシオマネキの分布



図3 万之瀬川河口におけるハマボウの分布

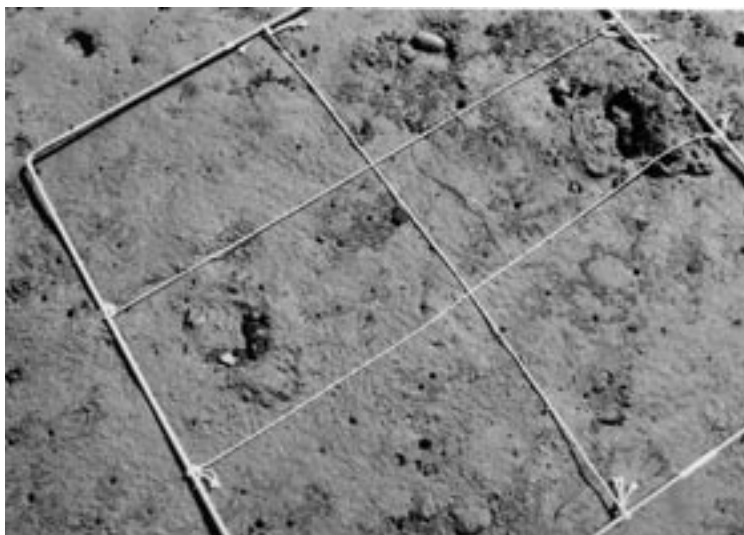


写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真7



写真8



写真9





写真10



写真11



写真12



写真13



写真14



写真15



写真16



写真17



写真18



写真19



写真20



写真21



写真22



写真23

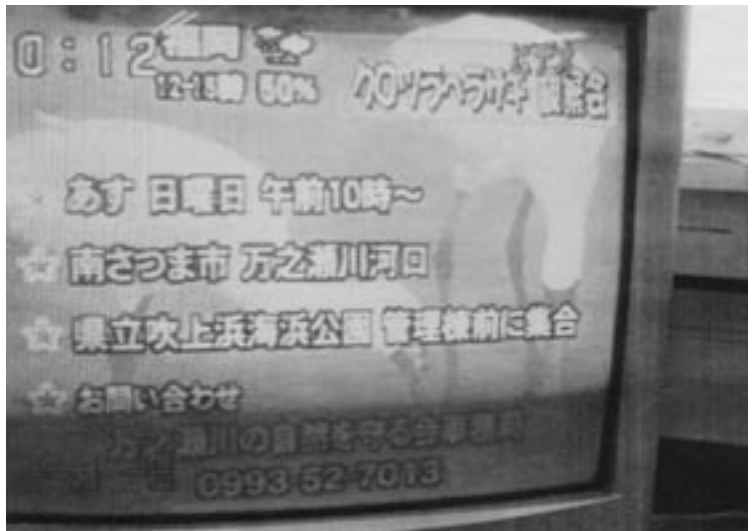


写真24

# まのせがわ どうしょく 万之瀬川の動植物

万之瀬川には豊かな自然環境から貴重な動植物が生息しています。

## クロツラヘラサギ (11月～4月)



河に北から訪れる、しゃもじのような形をしたくちばしとつなげた頸の部分が見え、  
「クロツラヘラサギ」を観ることができます。



## ハマグリ (通年)



天然の大きなハマグリを観ることができます。  
潮が引いた際のハマグリが生息する砂浜の  
塩漬はのどかです。

## ハマボウ (花:7月～8月)



黄色い花を咲かせる落葉広葉樹です。  
葉が広がり、海水が来るところでも生育が  
旺盛です。  
万之瀬川のように大きな群落となっている  
場所は少なくなっているようです。

## ハクセンシオマネキ (3月～11月)



ハクセンシオマネキの「ハクセン」というのは  
種が繁りかばず大きいV字の模様を  
見立てたものです。また、そのV字で足を動か  
す様子がまるで舟にのりていった潮を引くよう  
にも見えることから、このような名前がつけられてい  
ます。写真では、左が雄、右が雌です。



ハクセンシオマネキは生態環境の悪化で  
全国的に少なくなっています。  
万之瀬川の河口では、おおよそ100万匹  
以上の数を観ることができます。  
比較的暖かい季節で潮が引いたときに観るこ  
とができます。



種は大きいV字の模様があります。



種には大きいV字の模様があります。

発行：2005年9月1日

万之瀬川の自然を守る会

(TaKaRaハーモニストファンド助成事業)

編集協力：鹿児島地区パークボランティアの会  
鹿児島自然保護官事務所

写真協力：久木田 謙、田 悠 慎之介  
印刷：イマイ印刷(鹿児島市)

美しい自然環境の保護は、  
一人一人が万之瀬川を好きになる  
ことから始まります。  
あなたのお気に入りの場所を  
見つけてください。  
万之瀬川はきっと  
何かを語りかけてくれます。

万之瀬川の美しい  
自然をいつまでも。



情報ネットワーク

みなさんがら寄せられた  
万之瀬川の自然環境に関する  
情報が活動の様子などとしりごとめ、  
ネットワークの構築を目指します。



調査・モニタリング活動

ハクセツクオオマエ牛の生息状況調査の調査・  
モニタリングを行います。



視察会・普及啓発活動



ハクセツクオオマエ牛やクワガタムシ・ウリキキなど、  
視察会や自然の大切さについての普及啓発活動  
を行います。



万之瀬川の自然を守る会  
会のあゆみ

2004年4月 会発足

2004年9月 河口域での調査を開始

資料2

